

水稻苗の成長比較

水道水 vs
ウルトラナノバブル水

WHOLE IN ONE

栽培期間：2025年

6月11日～9月

場所 阿古谷農園

兵庫県川辺郡猪名川町

2025.9.16
彦次 作成



水稲苗の栽培比較

水道水/ウルトラナノバブル水

品種：つきあかり（早生品種）

栽培期間：2025年 6月11日~9月中旬

栽培方法：水位低下時に水を補給

水：

サンプルA: ウルトラナノバブル水

サンプルB: 通常の水

場所: 阿古谷農園（兵庫県川辺郡猪名川町）

サンプルAとB、それぞれ、水槽に20束ずつ植えて
苗から栽培、コメの収穫が多くなるかを実験する。

（1苗: 3本仕立て）

栽培者（株） タケシタ 乾様

（実家が農家 コメの栽培経験あり）

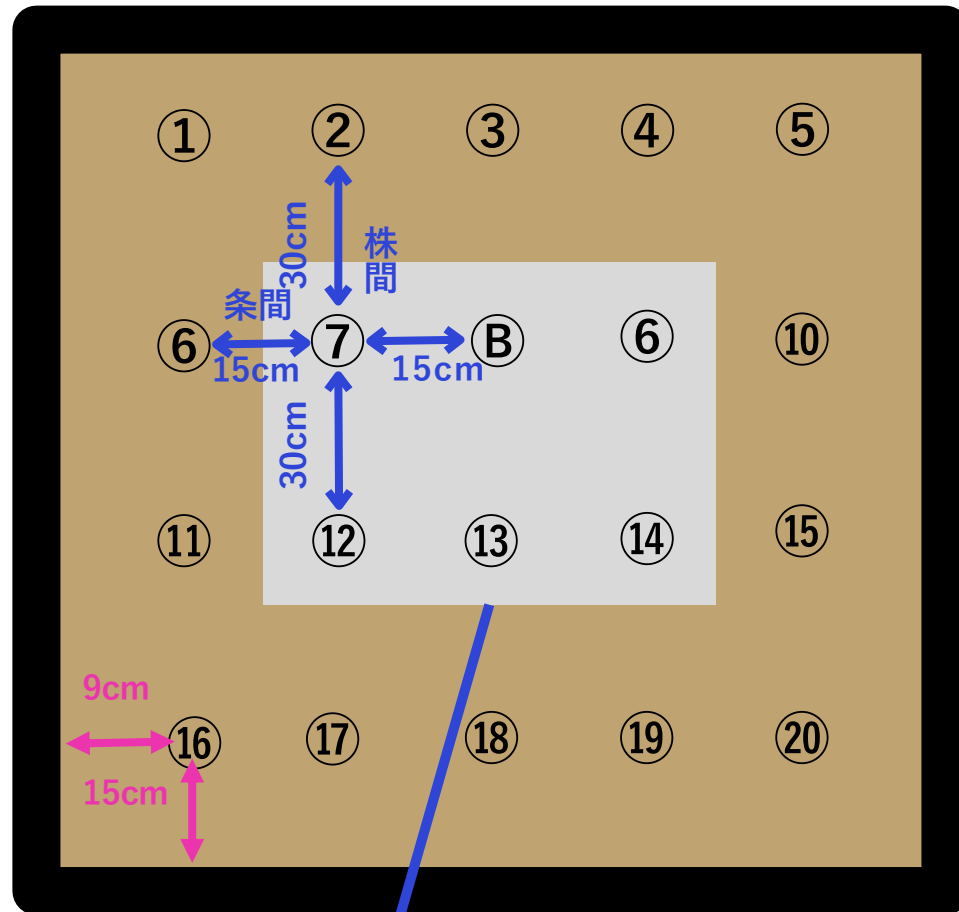


TFB13-BK

サンプルA: **WHOLE IN ONE TFB13-BK**を
水栓器具に接続・通水、水を補給。

苗の作付け

水槽内に土を入れ、水を張り、苗を植える



株間30cm、条間15cmが確保される
⑦、⑧、⑥、⑫、⑬、⑭を計測の対象とする。



6月11日より栽培開始

栽培記録

2025年9月2日～12日

栽培開始後、第12-13週
(83日-93日後)

1束を取り出し、
✓根の張り具合
✓稲穂の実り具合
確認を実施。



稲穂の比較



生育比較 (第12週)

WHOLE IN ONE と水道水

特徴 (比較)

水道水

苗の葉が多い

WHOLE IN ONE

葉は少ないが、茎の根本から枝分かれしており、
稲穂の数が水道水栽培より多くなっている。

※次週、稲を乾燥させて稲穂の数の比較写真を撮影。

穂の数の比較 (第13週 乾燥後、葉を取り除きカウント)



サンプルA
WHOLE IN ONE
(ウルトラナノバブル水)

穂の数 37



サンプルB
WHOLE IN ONE
(水道水)

穂の数 23



根の比較写真

(第12週撮影)

正面写真



左側からの写真:
WHOLE IN ONE → 水道水



右側からの写真:
水道水 → WHOLE IN ONE



WHOLE IN ONEの根は
先端までどっしり生えている。
水道水の根は先端の密度が
小さく、先細りしている。

(左側面写真と右側面写真を比較)

まとめ

- ・ ウルトラバブル水で育てた方がより多くの穂が実った。

※サンプルB（水道水）は茎の1本から1つの穂のみに対し、サンプルA（ウルトラナノバブル水）は茎1本から枝分かれし、穂の数が2つとなった。

※ウルトラバブル水が稲の水/養分をたくさん行き届かせ、光合成を促進、葉が少なくてもたくさん米を実らせる事ができたと推察。

来年度以降:

引き続き、来年度も栽培実験を進め、某高校（農業学科: タケシタ様提携）や大学の農学部とも提携（現在、提案中）し、栽培実験・検証を行っていききたい。

企業にも技術提案を行い、評価テストを実施して貰い収穫検証を行いたい。





TAKESHITA

製品に関する お問い合わせ/ご相談



TAKESHITA
WHOLE IN ONE

Just install the nozzle and your whole house will be comfortable!
Takeshita Ultra Nano Bubble Whole in One



Hi-cozy corporation
株式会社 HI-COZY

〒530-0001大阪府大阪市北区梅田1丁目1番3号
大阪駅前第3ビル 11階 2号室

電話080-4230-0154

担当 彦次 直

mail address: nhhicozy1@gmail.com

